

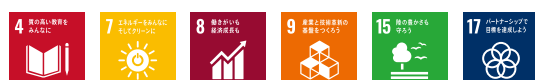


快適に、豊かに

ひと・モノを快適に運び、
毎日の生活と、社会、地域を豊かに



2024年12月にリニューアルオープンした九州道 北熊本SA
(上)店舗外観。熊本城の石垣「武者返し」のデザインを取り入れるなど、熊本の魅力がぎゅっと詰まった店舗に生まれ変わりました。



料金・交通情報



SA・PA情報



いつでも、誰もが使いやすい高速道路へ

料金・ETC



料金・交通情報



深夜割引の見直し

— 割引適用待ちの車両滞留の解消やトラック運転者の負担軽減 —

見直しの背景

深夜割引は、一般道の沿道環境改善のため、交通容量に余裕のある高速道路の夜間利用促進を目的とした割引です。

見直し前の深夜割引は、0～4時の時間帯に高速道路をETC走行する車両に適用されることから、0時前に料金所前で深夜割引適用待ちをする車両の滞留や、運転者等の労働環境悪化などが課題となっていました。そのため、以下のとおり、深夜割引の見直しを行います。変更の適用時期は当社ウェブサイトをご確認ください。



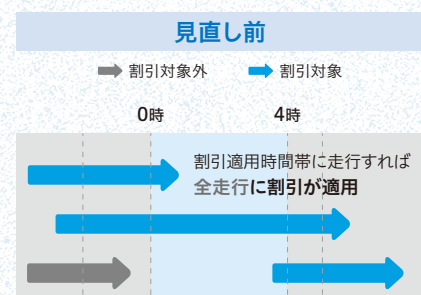
深夜割引変更特設サイト



深夜割引変更のポイント

POINT1

深夜割引の時間帯に
走行した分のみ割引

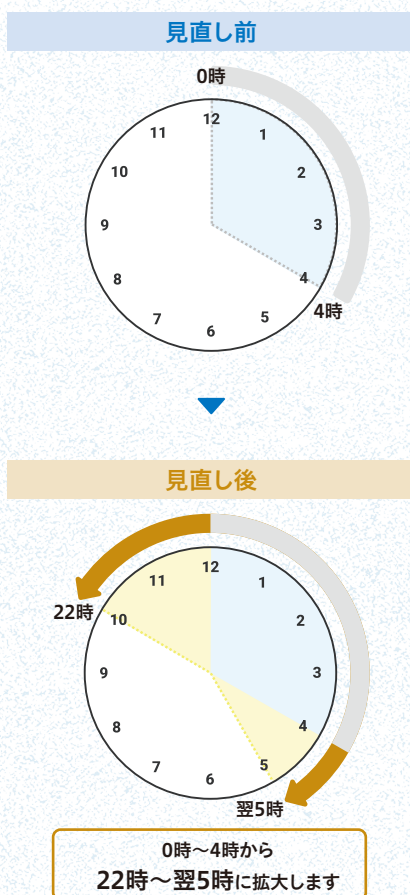


$$\text{深夜割引の還元率} = \left(\frac{\text{深夜割引適用時間帯の走行距離}}{\text{総走行距離}} \right) \times 30\%$$

※22時台流出は約20%

POINT2

深夜割引の時間帯が
3時間拡大(22時～翌5時)



POINT3

後日還元型の
割引制度へ変更



変更の詳細



速度超過や無休憩運転などの無謀な運転の抑止のため、上限距離を設定

割引時間帯の走行距離を増大させることを目的とした「速度超過」などの無謀な運転を抑止し、安全・安心に高速道路をご利用いただくために、車種区分等に応じて割引適用時間帯の走行距離に上限を設定します。また、無休憩運転の抑制のため、厚生労働省が定める連続運転時間の考え方を参考に、利用時間が4時間を超える場合は30分間の休憩時間を考慮して設定しています。

車種区分等	上限距離
軽自動車等／普通車／中型車／乗合型自動車	1時間あたり105km
大型車／特大型車(乗合型自動車以外)	1時間あたり90km

割引適用時間帯における利用時間が4時間を超える場合、休憩時間30分相当の距離を上限距離から減じます。詳細は当社ウェブサイトをご確認ください。



激変緩和措置

割引見直しによる長距離利用の通行料金負担増や、新たな交通集中を抑制することを目的に、激変緩和措置を実施します。

深夜割引見直し後の激変緩和措置

- 深夜割引適用車両のうち1,000km以上走行した場合、1,000kmを超える部分を割引対象走行分に追加
- 22時台に高速道路を流出した車両については、22時台に走行した分の還元率を最大20%

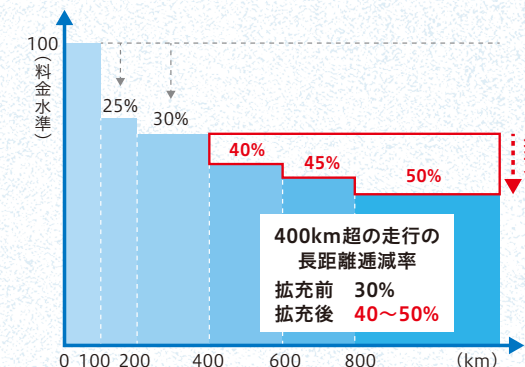


通行料金負担の増加の軽減のため、長距離逓減制を拡充

深夜割引の変更による長距離利用の通行料金負担の増加を軽減することを目的に、400km超の走行を対象に長距離逓減制を拡充します。

長距離逓減制とは

NEXCO3社が管理する高速道路のうち対距離料金を適用する高速自動車国道の利用にあたり、利用距離に応じて通行料金を逓減する制度です。(対距離料金を適用しない高速自動車国道、一般有料道路、他の高速道路会社が管理する高速道路は対象外であり、長距離逓減の対象距離には含まれません。)



通勤パスの社会実験

— 多様化する勤務体系への対応と通勤時間帯の混雑解消 —

高速道路では、高速道路に並行する一般道における通勤時間帯の混雑解消のため「平日朝夕割引」を実施していますが、多様化する勤務体系や通勤時間帯に混雑している高速道路における交通分散の対応が必要となっています。そのため、2024年4月より、当社管内では香川県・長崎県の一部区間で、「通勤パス」の社会実験を実施し、平日朝夕割引の見直しに向けた試行・検証を行っています。



通勤パスとは

事前に車種・区間を指定してお申し込みいただくと、曜日や時間帯にかかわらず、月初から月末までの1ヵ月間、1日3回までの走行に限り、指定区間内の料金を最大50%割引の通行料金でご利用いただける割引です。

オーバーツーリズムの未然防止・抑制に向けて

休日割引適用除外

ー新たに3連休も適用除外日にー

休日割引については、観光需要平準化や交通分散のため、適用除外日を設定しています。2024年度までにお盆・年末年始・大型連休を適用除外日とした結果、渋滞量が減少する傾向が確認されました。一方で、他の3連休についても、連休後の土日と比較して交通の集中が発生していることを踏まえ、国土交通省と検討した結果、2025年度以降は、新たに3連休についても適用しないこととしました。引き続き、高速道路の渋滞対策にご理解・ご協力をお願いします。



以下の日程は休日割引が適用されません

- 3連休
- シルバーウィーク
- ゴールデンウィーク
- 年末年始
- お盆

詳しい日付はこちら



ドライブパス(周遊パス)の利便性と魅力の向上

観光振興と観光需要平準化の両立に向けて、ETC車限定で対象エリアの高速道路が定額で乗り降り自由となる「ドライブパス」については、以下の取り組みを行っています。

1. 全国のドライブパスを検索できるサイトを導入
2. NEXCO 3社での共通会員制を導入
3. 平日利用のETCマイレージポイント追加付与
平日のみの利用で販売価格の15%ポイントを追加付与
4. 自治体等と連携したドライブパスの販売拡充



自治体と連携した周遊プラン

ドライブパスの
申込専用サイト
「みち旅」



観光施設と連携した周遊プラン

担当者の声 ドライブパスで、観光をもっと楽しく

ドライブパスを企画するときは、高速道路料金がおトクになるだけでなく、お客さまにより地域を楽しんでいただけるものを目指しています。「とっとり満喫ドライブパス」では、鳥取県と連携し、観光情報サイト「とっとり旅」でテーマ別のモデルコースをご提案。さらに観光施設入館料の割引や特産品のプレゼント(抽選)などの利用特典も準備し、鳥取の観光を盛り上げられるよう、地域の方と一緒に作り上げています。



中国支社 保安サービス事業部 料金課
堤 大耀



ETC専用化等による料金所のキャッシュレス化・タッチレス化

新しいモビリティ社会に向け、お客さま・社会のニーズに
適応した料金収受を目指し、ETC専用化等の取り組みに
よるキャッシュレス化・
タッチレス化を推進します。

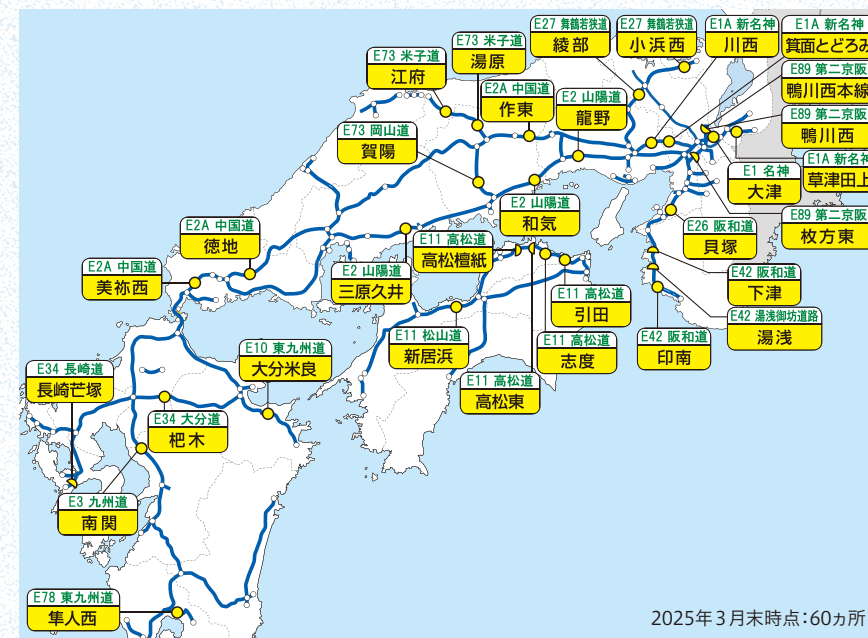
ETC専用
料金所



ETC専用化等の導入目的

- 空いている時間帯や経路の割引など柔軟な料金設定が容易となり、混雑を緩和してお客さまの生産性向上に寄与
- 料金所係員の人員確保が困難になる中、ETCを活用することにより料金所の機能を維持
- お客さまと料金所係員の接触機会を減らし、感染症リスクを軽減 等

2025年春から新たに32料金所がETC専用料金所に



2025年3月末時点:60カ所



ETC専用料金所の案内標示

ETC専用料金所に誤って進入された場合はこちらのレーンをご利用ください。

サポート もしくは ETC サポート

※イメージです。



ETCの普及促進のための取り組み

●ETC車載器購入助成キャンペーンの実施



●ETCパーソナルカード

クレジットカードをお持ちでない方でも
デポジット(保証金)を預託いただくこと
で、ETCカードをご利用いただけます。

ETCパーソナルカード



チーフマネージャーの声 安心してご利用いただけるように

料金割引の見直しやETC専用化など、高速道路の利用方法は、年々進化しています。そのため、不安や疑問を伴ったお問い合わせをいただくこともあり、お客さまに寄り添った丁寧な対応を心がけています。お客さまセンターは、単にお問い合わせに 대응するだけでなく、お客さまから寄せられた声を社内の関係部署へ届けることで、より良い高速道路サービスの提供につなげる役割も担っています。これからも、お客さま対応品質の向上と各事業部との連携を深め、お客さまに安心して、快適にご利用いただける高速道路づくりに貢献していきます。

広報CS推進本部 広報CS推進部 お客さまセンター チーフマネージャー 置田 祐介



観光スポット×高速道路網 お国じまんデジタルラリー

各府県が選ぶ「ごじまん」の観光地やSA・PAに設置したGO!JIMANスタンプを集めて応募すると、抽選でご当地産品等のプレゼントがもらえる「お国じまんデジタルラリー」。高速道路網を活用した地域への誘客促進・観光振興を行っています。



キャンペーン
公式サイト

西日本の
体験施設を
巡るコースが
新登場!



すべての皆さまに、快適な休憩施設を

SA・PA



SA・PA情報



駐車場の混雑対策 ―物流事業者への支援―

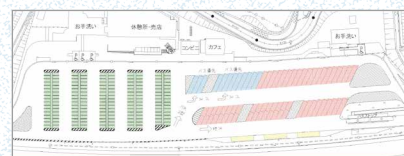
大型車の駐車マスの拡充

大型車の長時間駐車により、深夜帯を中心に大型車の駐車マスが不足し、混雑が発生していることから、大型車の駐車マスを拡充し、休憩施設の機能向上に取り組んでいます。

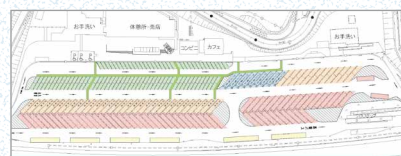
九州道 基山PA(下) 駐車マスのレイアウト変更

V字駐車マスへの変更により通路1本分を省スペース化などを行い、大型車マス増設のスペースを確保。

拡充前



拡充後



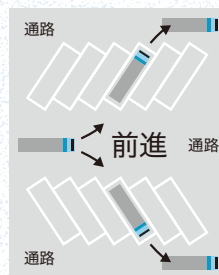
大型車マス+14台、小型・大型兼用マス+43台を実現しました。

大型車駐車マス拡充実績

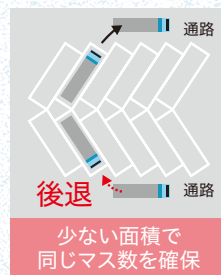
- 2024年度 158台
- 2020年度以降累積 1,100台以上

※兼用マス・ダブル連結トラックマスを含む

単列駐車マス



V字駐車マス



深刻なドライバー不足に対応する物流事業者への支援

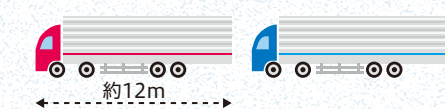
ダブル連結トラック駐車マスの整備

1台で通常的大型トラック2台分の輸送が可能な「ダブル連結トラック」は、2019年8月に運行区間が東北道から九州道まで拡大されて以降、特殊車両通行の許可台数が増加し、物流事業者のニーズ等を踏まえ、通行可能路線が順次拡大しています。当社ではダブル連結トラックの休憩機会確保のため、駐車マスの整備を進め、2024年度は16台を追加整備しました。

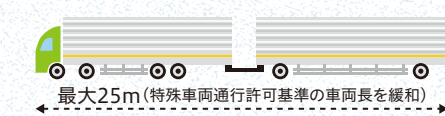


25mダブル連結トラックとは

- 通常的大型トラック(10tトラック)



- ダブル連結トラック(1台で2台分の輸送が可能)



ダブル連結トラック駐車マス(中国道 七塚原SA(下))

ダブル連結トラック駐車マス整備実績

- 2024年度 16台
- 累計 71カ所 97台



担当者の声 物流を支える企業の一員として

大型車の駐車マス不足への対策は、2018年度から継続して取り組んできました。近年、物流輸送量の増加や物流の2024年問題など、SA・PAに求められる機能が変化していることも踏まえ、当社では、海外の事例なども参考に様々な対策を進めています。日本の生活に欠かすことができない物流を支える企業の一員として、引き続き、関係機関と連携し、物流業界の皆さまの声を取り入れながら、利用しやすい休憩施設を目指していきたいです。

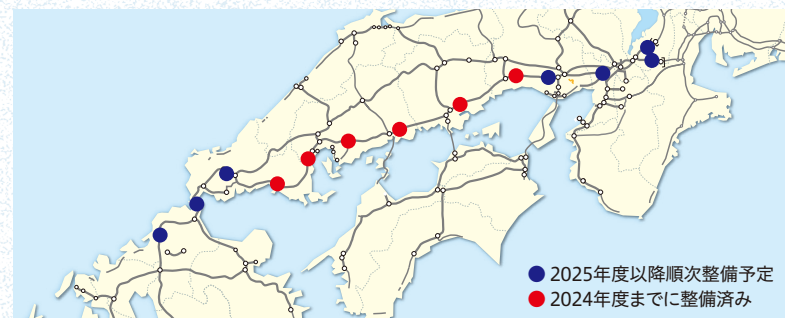
保全サービス事業本部 保全サービス事業部 交通課 井上 貴大



より確実な“休憩”機会を確保する実証実験

大型車の短時間限定駐車マス 西日本管内は17カ所へ拡大

NEXCO東日本、NEXCO中日本と連携して実施している「大型車の短時間限定駐車マス」の実証実験により、短時間(60分以内)の利用台数の増加、駐車マスの回転率向上などの効果が確認できたため、整備箇所を拡大しています。また、実証実験では、深夜・朝方を中心に60分以上駐車する車両が約30%確認されました。適正な利用を促すため、ポスターなどの広報に加え、画像処理技術により駐車時間を判定し、休憩施設のモニターにて駐車時間を情報提供する取り組みを一部で開始します。



整備箇所の詳細は当社ウェブサイトをご覧ください。

新たな駐車形態を試行

出発時間限定 大型車3列駐車マス

大型車駐車マス拡充の取り組みを進めていますが、休憩施設の敷地は限られており、単純な駐車マスの増設やレイアウト変更には限界があります。そのため、新たな駐車形態として、中国道 鹿野SA(下)において、2024年8月から2025年5月にかけて「出発時間指定 大型車3列駐車マス」を試行しました。試行結果は、山陽道 佐波川SA(下)にて予定している複数縦列式駐車場の整備に役立てていきます。

複数縦列式(コラム式)駐車場とは

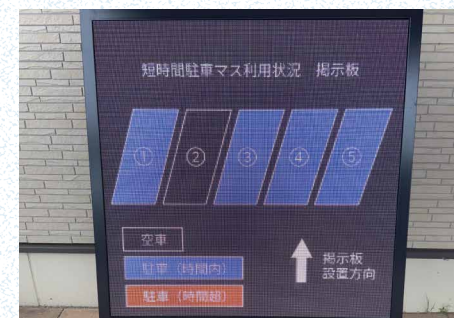
ドイツのアウトバーンなどにおいて採用実績がある駐車方式。出発時間別に縦列駐車するレーンを設けることで、駐車マスを効率的に配備することを目的にした方式です。休憩施設を出発する時刻毎に縦列駐車させる駐車制御が必要であり、ドイツでは駐車チケットの発券や、駐車マスの頭上に出発時間を表示するなど、ドライバーに駐車方法を伝える制御をとっています。



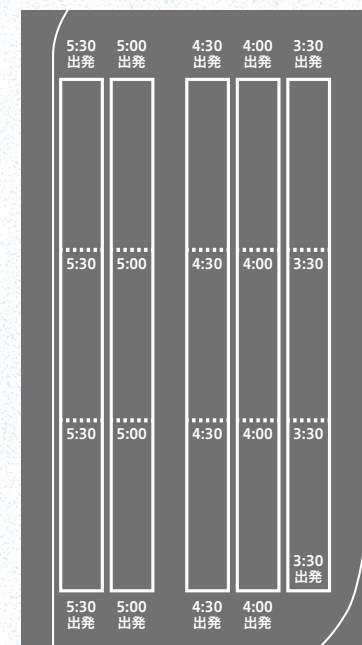
ドイツ(Jura-West)のコラム式駐車場(右の写真は、このマスの出発時間を示す表示)



黄色の駐車マスが短時間限定駐車マス(九州道 古賀SA(下))



画像処理により判定した駐車時間を情報提供するモニター(九州道 古賀SA(下))



出発指定時間を各マスに標示(中国道 鹿野SA(下))

トイレのリニューアル

お客さまに快適で安心してご利用いただけるトイレを目指して、自然光を取り込んだ明るい空間の演出や、バリアフリー化、女子トイレ内へのパウダーコーナーの整備などに取り組んでいます。



女子トイレのパウダーコーナー
（九州道 北熊本SA（上））



空きブースが目でわかるランプ
（九州道 北熊本SA（上））

NEXCO西日本は、
お手洗いの **4C + 1E** への改修を進めています

Clear （明るく） 少ない電力で明るく開放感ある空間	Comfortable （快適に） バリアフリー対応・空調設備
Clean （清潔で） 汚れにくく乾式清掃ができる床材	Charming （魅力的に） パウダーコーナーの整備
Ecology （環境負荷の軽減） LED照明（約50%省エネ）や節水型便器（約75%節水）の採用	

無人PAのサービス向上

無人PAでの自動販売機による食の提供によりお客さまサービスの向上につなげるとともに、高速道路を通じた地域課題の解決にも貢献する取り組みとして、農福連携「焼き芋自動販売機」の設置を拡大しています。

農福連携とは

農林水産省が推進している、障がい者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取り組みのことです。農福連携に取り組むことで、障がい者等の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保につながることがあります。

焼き芋自動販売機とは

宮崎県延岡市の（株）和光産業による、焼き芋自動販売機の設置を通じた障がい者の就労支援の取り組みです。焼き芋の製造・自動販売機への補充等の工程の一部を、就労機会として提供しています。

※焼き芋自動販売機の設置は、当社グループの地域共創活動（P.53）として取り組んでいます



焼き芋自動販売機の設置箇所

TOPICS

「地域のおむすび＝地むすび」を販売する実証実験

無人PAでのサービス向上に向けた事業可能性を検証するため、2024年4月、舞鶴若狭道上荒川PA（上）にて、兵庫県の食材を使用した「地域のおむすび＝地むすび」を販売する実証実験を実施。「高速道路で地域のごはんを食べ、ほっこり暖かな気持ちになってほしい」という想いから、「おむすび」と「NEXCO」を掛け合わせた「むすびすこ」と名付けました。引き続き、無人PAの利便性向上に努めていきます。



シャワーステーションの充実



シャワーステーション設置箇所

当社では、高速道路をご利用されるお客さまの疲労回復、くつろぎの提供として、11カ所のSA・PAにシャワーステーションを設置しています。

また、スマートキー（電子鍵）による予約システムの導入を拡大しており、順番待ちの時間をショッピングなどで有効にご利用いただけるよう、利便性の向上を進めています。



シャワーステーションには、男女別のコインシャワーとコインランドリーが併設されています。

多様なニーズに応える施設・サービスの整備

設置箇所数：2025年3月末時点



お子さま連れのお客さまへ

- ベビーコーナー 109カ所
- ベビーカーの無料貸出 71カ所



インバウンド対応

- JNTO認定外国人観光案内所 63カ所
- 多言語翻訳サービス 63カ所
- トイレの多言語案内 130カ所*

*：順次拡大中



バリアフリー化

- バリアフリートイレ 307カ所
- オストメイト対応トイレ 243カ所
- 車いすの無料貸出 94カ所



地域とつながるウェルカムゲート

- 一般道からSA・PAをご利用可能なウェルカムゲート 84カ所

店舗リニューアルによる魅力の進化

九州道 北熊本SA 上下線 リニューアルオープン



「熊本城」をモチーフに、食やお土産など熊本の魅力をぎゅっと濃縮

2024年 12月 オープン

外観の意匠には熊本城の石垣「武者返し」を、内観には熊本県PRマスコットキャラクター「くまモン」を随所に採用。フードホールでは、熊本名物の「たかな飯」定食や太平燕（タイピーエン）、あか牛のステーキなどをはじめ、愛らしいくまモンのパンや人形焼きなどを取り揃え、店内には「隠れくまモン」を探す楽しさも。熊本の魅力がぎゅっと詰まったサービスエリアに生まれ変わりました。



“瞬”間的に、“旬”の熊本をお楽しみいただける施設に

2025年 3月 オープン

ナチュラルな色合いと素材で「阿蘇の大自然」を表現した店舗は、熊本銘菓を多数取り揃えた売場とコンビニエンスストアを併設。熊本ラーメンや「だご汁」など、フードコートでお楽しみいただける郷土料理のほか、阿蘇自然豚と天草産の塩を使用した「ソルティドッグ」など、テイクアウトも充実。旅の目的地へ急ぐお客さまのニーズにも応えるサービスエリアとなりました。



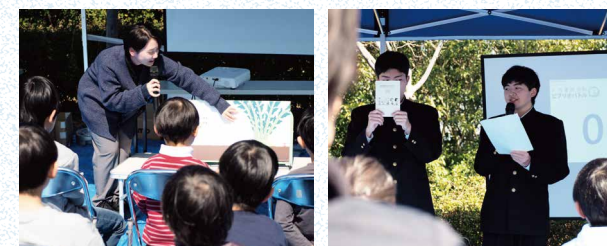
地域の次世代とつくるSA・PA

**愛媛大学との産学連携プロジェクト
伊予灘の自然・景色を楽しめる「ピクニックエリア」を新設**

松山道 伊予灘SAでは、「地域に愛される伊予灘SA」を目指し、愛媛大学社会共創学部と産学連携を行っています。2025年3月には、学生による現地調査や当社との意見交換により、芝生の上で伊予灘の自然・景色を楽しめる「ピクニックエリア」を下り線に新設。オープン日には、伊予市で活動する「いよ本プロジェクト」と連携した記念イベントを学生と協働で開催しました。地域の魅力を感じられる場所になるように、そして、伊予灘SA自身が地域の魅力になるように、地域を担う次世代との魅力開発を続けていきます。



ピクニックエリアには、恋人の聖地にちなんだハート型ベンチを設置。目の前には、伊予灘の絶景が広がっています。



学生による絵本の読み聞かせ

本を紹介するビブリオバトル



伊予市とのAR体験周遊企画も連携

伊予灘に沈む夕日とシンボルツリー

大学からの声 学生がライフキャリアを考える貴重な機会になっています

愛媛大学 社会共創学部では、2018年度からNEXCO西日本と連携し、伊予灘SAの活性化に取り組んでいます。ピクニックエリアのオープン時には、地域の方々と協力し、「本」をテーマにしたイベントを企画しました。こうした新しい価値を創造する活動に学生が参加することで、単なるインターンシップにとどまらず、自身の将来のライフキャリアを考える貴重な機会となっています。今後も伊予灘SAで多くの方が楽しい時間を過ごすことを目指し、活動に携わっていきたく考えています。

愛媛大学 社会共創学部
学部長 松村 暢彦



地域の学校と連携したオリジナル商品の開発

当社グループでは、地域の学校・企業と連携し、SA・PAで販売する商品の開発を通じた教育機会の提供を行っています。商品開発により次世代の育成に貢献するとともに、次世代が発掘した“地域の魅力”をSA・PAから発信することを通して、地域の魅力発信拠点としてのSA・PAの成長を目指しています。



「元祖 シトライス」

愛媛県立伊予農業高等学校

愛媛の学校給食メニュー「みかんご飯」をタコライス風にアレンジ。中央のスライスみかんは生徒が育てたみかんを使用し、みかんの爽やかさと、本格派でスパイシーなタコスミートがベストマッチ。松山道 石鎚山SA(上)・伊予灘SA(上)(下)にて販売。



「どらきび」

岡山県立岡山東商業高等学校

「岡山県の新名物」を目指し、同校と(株)廣榮堂、当社が連携し開発。備中白小豆を使用した白あんと、廣榮堂の「元祖きびだんご」・「白桃きびだんご」を挟んだ、新触感のどら焼きを、関西・中国エリアのSA・PAで販売。



「塩フィナンシェ」

兵庫県立明石北高等学校

減農薬・減化学肥料で栽培された「Aあかし」のブランド米「花美人」の米粉と、淡路島の藻塩を使った焼き菓子。「人にも環境にも優しい街として明石のことを知ってもらいたい」という生徒の想いが詰まった本商品は、第二神明道路 明石SA(上下)限定で販売中。

担当者の声 旅に刺激をプラスする「クリエイティブLab 北熊本」

北熊本SA上下線のリニューアルに併せて、熊本・九州で生まれた創造的なモノ・コトをお客さまにご紹介する「クリエイティブLab 北熊本」プロジェクトを開始しました。店舗やホールでの展示やワークショップなど、九州各地の魅力に触れられる新しい場を企画しています。お客さまの目的地やお土産、そして思い出が1つ追加になるなど、どんな化学反応を生み出せるかチャレンジしていきます。



九州支社 総務企画部 事業開発課
森 あずさ



店内の地域連携スペースにて、熊本ゆかりのアーティストの作品を展示

全国の人と地域をつなぐSA・PA

SA・PAを単なる休憩場所や通過点にしておくのではなく、SA・PAが目的地となる魅力的なキャンペーンやイベントを開催することで、高速道路網を活用した広域的な誘客を行い、全国の人と地域をつないでいます。

西日本をすみずみまで旅するきっかけに ネクスミッコキャンペーン

関西から九州まで当社管内全域を対象として、サンエックス(株)のキャラクター「すみっこぐらし」と当社がコラボしたキャンペーンを実施。西日本のすみずみまで足を運んでいただけるきっかけになるよう、管内26カ所のSA・PAをすみっこぐらし仕様に装飾し、スタンプラリー企画や地域限定のオリジナルグッズ、地域の魅力を活かしたコラボフードやお土産を販売しました。



キャンペーンキービジュアル



スタンプラリーキット



スーパーすみっこエリア



限定デザインの手のりぬいぐるみは、当社にちなんだもののほか、明太子やふぐ等、地域の特色を活かしたデザインに。



スーパーすみっこエリア

担当者の声 初めての大規模なキャンペーン

当社とすみっこぐらしのコラボではありましたが、地域への誘客や地域の魅力発信もできるよう、キャンペーン内容を検討しました。当社では、これほど大きな規模のコラボキャンペーンは初めての試みだったので、手探りでグループ会社やテナント会社と協力しながら作り上げました。すみっこぐらしのファンみなさまをはじめ、地域の皆さま、そしてグループ社員にとっても、楽しく・魅力あるキャンペーンになっていたら嬉しいです。

事業開発本部 事業開発部 事業開発課 門司 彩



地元の特産品 × キャラクターイベント ピクミンテラス in 宮島SA

山陽道 宮島SA(下)において、任天堂(株)のキャラクターである「ピクミン」をテーマにしたイベントを開催。もみじ饅頭やレモンなど、地域の特産品にちなんだ立体展示やコラボ商品、特設ショップなどを展開しています。



イベント特設サイト



ピクミンたちの立体展示



地元企業とのコラボ商品

香木堂
「かりんとうピクミンテラスセット
(レモン・ちりめん・きな粉)」



地域に根差した高速道路の付加価値

西日本管内24府県の魅力ある“すぐれもの”を発掘・お届け

西日本各地でこだわってつくられた魅力ある“すぐれもの”や、「美味しかったけれどまた買いに行くには遠い」といったSA・PA限定商品をお求めのお客さま向けに、オンラインショップを運営しています。商品に込められた地域の魅力やこだわりを皆さまにお届けすることで、西日本地域を応援します。



高速道路を通したビジネスマッチング

金融機関や自治体等と協力し、地域の企業とSA・PAの商業施設を運営するテナント事業者をマッチングする商談会を継続して実施しています。地元企業との連携を強化することで、新たな地域の逸品や、地域の食材を活かした食事メニューを開発するとともに、企業が生産している地域産品の販路拡大を目指しています。



パイヤーの声 地域の想いとお客さまの笑顔を橋渡し



商談会では特に意欲の高い事業者さまとの出会いがあります。商談では、そんな事業者さまと会話を紡ぐことで、安全・安心や商品開発に込められた想い、地域の新たな魅力などを引き出すよう心がけています。これからも、西日本を訪れるお客さまの笑顔と満足度の向上のために、西日本のSA・PAへの卸業を担う当社の流通網を活かして、地域とSA・PAの橋渡しをし、良質で多種多様な商品をお届けしていきます。

西日本高速道路ロジスティクス(株) 営業部 調査役(チーフパイヤー) 阿山 真也

運営担当者の声 大阪・関西万博を目前に、過去最大の商談会

地産地消・地域活性化の促進のため、財務省近畿財務局等と連携し、2025年2月に『第4回関西交通ネットワーク大商談会』を開催しました。売り手には地元企業約180社、買い手には西日本のSA・PAテナント以外にも鉄道・空港など関西の交通インフラの小売事業者を迎え、350を超える商談を実施。開催直前の大阪・関西万博のPRブースも設け、関西の魅力を発信するきっかけの場となるよう励みました。

西日本高速道路サービス・ホールディングス(株) 店舗営業部 商品開発課 西野 大空



地域づくりのプラットフォーマーを目指して

地域共創

地域と共に、新しい価値を創る

地域共創活動は、地域と当社グループがお互いのリソースを活かし合い、持続可能な地域づくりにチャレンジする取り組みです。

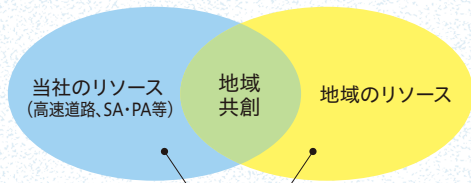
当社グループはこれまで、高速道路等のインフラを活用し、地域の観光産業等の既存市場に対してその効果を発揮してきました。地域課題が多様化する今、既存市場に依存するだけではなく、人と地域をつなぐ力を持つインフラ企業として、地域主体による新たな価値創造を引き出す役割も担う必要があると考えています。

私たちは地域と共に、新しい価値を創る「地域づくりのプラットフォーマー」を目指し、挑戦しています。

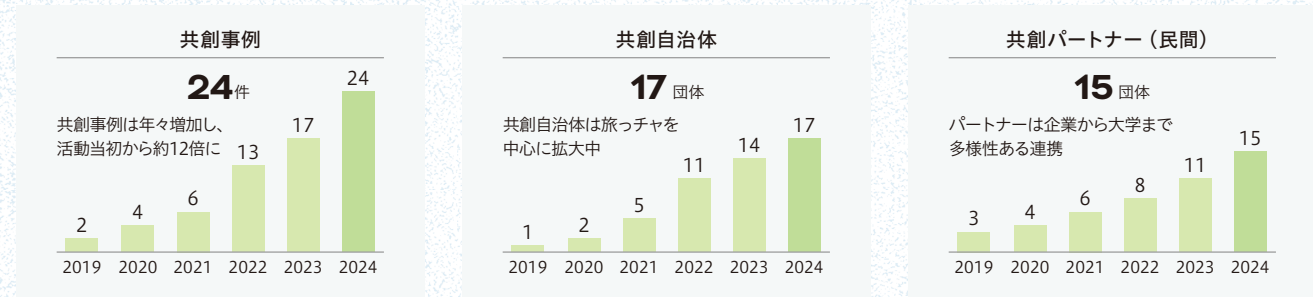
地域共創



お互いのノウハウ・リソースを持ち寄り、
解決困難な地域課題に取り組むことで、
新しい価値を創出



これまでの取り組み(自らのリソースで対応)



移動シーンを3つに分割したプロジェクト

当社グループの地域共創は都市と地域を結び付け、観光・文化・産業などの地域の価値を引き出すことを目的に活動しています。

地域の価値を最大化させるために、移動のシーンを『旅マエ・旅ナカ・旅サキ』に分割して、各シーンに合わせたプロジェクトに取り組んでいます。

旅ナカ 偶発性とお得感で地域へ送客 クルマ旅キャンペーン「旅っチャ」

旅先で使えるお得なグルメチケット等が入った「運試し型のチケット販売機」をSA・PAに設置し、クルマ旅での偶発性と体験性を演出するキャンペーン「旅っチャ」。高速道路網を活用した広域的な誘客をベースに、SA・PAをお客さまと地域をつなぐタッチポイントとして活用。旅する気持ちを後押しするような企画を自治体や地元企業の皆さまと共創し、地域の魅力にお得にアクセスしていただく機会を提供しています。



1回500円でカプセルを1つゲットすると、必ず500円以上のグルメチケット等が当たる。チケットの内容や使用条件の工夫により、地域のニーズとリソースに応じた送客が可能となる。

旅マエ

九州各地と福岡都市圏を結ぶ架け橋に 産学共創プロジェクト KSUちはやサービスエリア

九州産業大学、高橋(株)(福岡市東区千早に所在するガーデンズ千早の運営会社)と連携し、高速道路のサービスエリアを模したアンテナショップを学生が主体となって企画運営するプロジェクト『KSUちはやサービスエリア』をプロデュースしました。

第一弾として、2024年8月から約1ヵ月間、ガーデンズ千早内に「大分・佐伯サービスエリア」を期間限定で出店。学生が実店舗運営という実践的な経験を積む場を産学共創で実現するとともに、学生が地域と都市をつなげる役割を担い、佐伯市の魅力を福岡都市圏に発信しました。今後、地域と都市を結ぶ新たな交流機会の創出を目指します。



学生からの声 地域の魅力を「自分事として語る」

事前のフィールドワークや店舗運営を通して、外部の人間が地域の魅力を発信するには「地域の当事者としての視点」が大事だと学びました。実際にサービスエリアを訪れてくれた方に「佐伯市を自分事として語る」ことを意識して紹介すると、楽しそうに聞いてくださることが多く、当事者視点で魅力を伝えることにやりがいを感じました。今後、自分がこれまで知らなかった地域を紹介するときはもちろん、自分の地元のことを紹介するときにも「自分事」として魅力を紹介していきたいと思っています。

九州産業大学 地域共創学部 観光学科
西井田 直登(写真中央)



学生の声は
音声メディア
『関門ON AIR』で
配信中



旅ナカ

旅サキ

SA・PAがない沿線地域の魅力も届けたい 動くサービスエリア たかはるSA

宮崎県高原町、奥霧島地域商社ツナガルたかはる(株)との連携協定に基づくプロジェクトの第一弾として、2024年5月から「動くたかはるSA」が始動。SA・PAが位置しない町にも、地域名称を冠した場でお客さまが地域産品等に触れられる機会を創りたいとの想いから、高速道路会社では初となるキッチントレーラーを活用した移動式サービスエリアが誕生しました。高原町産の米粉を使用したチュロスや九州道 宮原SA(上)(熊本県)などで販売することで、高原町の魅力発信・交流人口増につながっています。

